

包括的性教育だより

わかやましりつ みやしょうがっこう
和歌山市立宮小学校

9月25日（木）3年生で性の健康相談室・浜野助産院 助産師：浜野優子さんにおこし頂き、『わたしらしく あなたらしく』という内容でお話を聞かせてもらいました。大変遅くなりましたが、教えて頂いた内容と、児童の感想をお知らせさせていただきます。また、お子様が記入した感想を持ち帰りますので、ぜひその感想と合わせてお子様と一緒に読んでください。

初めに、産まれてくるまでみんなのおへそはお母さんの胎盤につながっていて、お母さんにおなかの中で守ってもらっていたことを教えてもらいました。じゃあ「お母さんはだれに守ってもらってたかな？」という質問には「おばあちゃん!!」と答え、子どもたちからは「ずっとつながってる」という声も聞かれました。自分たちの命がご先祖様から受けついできたこと、そしておなかの中で大切に守られてきたことを学習しました。

次に、産まれてきてからは自分の体は自分で守っていくこと、「守っていくためにどうしたらいいかな？」の質問には、「しっかりご飯を食べる」「歯みがき」「運動」「睡眠」「お風呂に入る」などしっかり考え、質問に答えられていました。

自分だけの大切な体を自分で洗えるように、体の洗い方も教えてもらいました。上の汚れは下の方に流れていくので、体は上から下に洗うこと、先生手作りの性器の模型を使って大切な性器の洗い方についても学習しました。

そのあと、「おまたのけり合いとかしている子いない？」との質問にはニヤニヤしたり、お互いに指の指し合いをする子どもたちでしたが、つめの先から頭の先まで1人1人の大切な場所で、その中でも特別大事な場が下着でかくれる場所「プライベートゾーン」ということなど、授業の前半では自分たちの大切な体のしくみや役割について学習しました。

プライベートゾーンって？

◎髪の毛から指の先まで

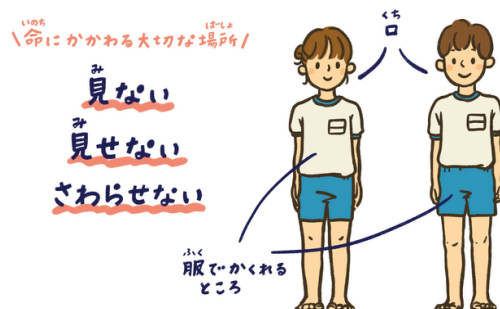
☆特に下着（水着）で隠れる部分＋口



どうして？

下着（水着）でかくれる部分（胸・性器・おしり）は、体の内部につながる「いのち」に関わるところで自分だけの大切な場所だからです。

知っているかな？ プライベートゾーン



授業の後半では、前半で学習した『体』を守っていくことの大切さと同じように「うれしい」「悲しい」「いやだなー」などの気持ち『心』を守る学習をしました。

自分自身も先生もおうちの人も1人1人シャボン玉バリア（境界線）を持っていて、これがあるから安心が守られていることも学習しました。

そのあと、事前に塗っていたTシャツを何人かに紹介してもらい、『わたしらしく あなたらしく』ってどんなことかみんなで考えました。「男らしく（男っぽい）」「女らしく（女っぽい）」でイメージするものを発表しました。「男らしく」では、カッコイイ、おにごっこやドッジが得意、髪の毛が短い、青・緑・黒色が好きなど、「女らしく」では、スカート、おとなしい、おりがみが好き、ピンク、かわいい、リボンなどの意見が出されました。ワークシートを使いながら、ピンクが好きな男の子もいいよね、スカートがキレイな女の子もいいよね、と男やから女やからという男らしさ、女らしさではなく『自分らしさ』を大切にしようと話をしてくれました。

浜野先生が『イリスの誕生日』という絵本も読んでくれました。この本に出てきたイリスたちのように、男だから女だからではなく自分の好きを大切にすることの大切さを教えてくださいました。最後に、事前に自分の好きな色などに塗ったTシャツの横に、男らしさ女らしさではなく、『自分らしさ』を大切にしたい風船に色などを塗り担任の先生にTシャツのそばに貼り付けてもらいました。

授業後には、浜野先生が持って来てくださった産まれるまでの胎児人形や産まれたばかりの赤ちゃん人形、性器の模型、授業で使った教材などを自由に見せて頂き、赤ちゃんを抱っこしたり、教えて頂いた性器の拭き方を確認したりする様子が見られました。



授業の様子・児童の感想

はまの先生、私はスカートがきらいなわけじゃないけどズボンが一番すきです。本当にたまにだけど、「スカートすき？」って聞かれるけど、はまの先生が「べつにかっこいい服を着ていいよ」と言ってくれてうれしかったです。そのおかげで安心して、今はかっこいい服をいっぱい着たい気持ちになりました。



私は自分らしさの話が心に残ったので、自分らしさの話の感想文を書きます。私は女の子だけど、スカートはあまりはきませんし、青やむらさきが好きです。男の子でもスカートをはいたり、リボンでポニーテールをしてもいいと思ったし、女の子でも黒の服を着たり、ズボンをはいたり、髪の毛を短くしてもいいと思いました。自分らしさはとても大切だと思いました。そして自分らしさにせいべつは関係ないことが分かりました。



女の子と男の子の体のあらう方をべんきょうして、体のこともよくしれました。シャボン玉バリアをして、とてもひつようだと思いました。先生の教えかたがやさしくて、たのしくて、わかりやすかったです。



プライベートゾーンという言葉をおぼえることができた。男せいきや女せいきのあらう方が分かった。おへそにへそのおがついていて、へそのおがたいばんについていることが分かった。男女かんけいなくて、自分は自分で相手は相手ですきなものはそれぞれちがうと分かった。人にはシャボン玉バリアがそれぞれあることが分かった。男の子がスカートをはくのもわるくないと思った。人の体のしくみがわかった。おまたやおちんちんのちゃんとした名前がわかった。さい後に、絵本を読んでもらって自分らしさが分かった。

体のあらうじゅんばんとかいつも気にしていなかったけど、体のあらうじゅんばんは、頭（上）から足（下）の方にじゅんばんにあらうていくんだなあと知れました。女の子だからスカートをぜったいはかないといけないとか、男子だからかっこいい服を着ないといけないとか考えたことはなくて、よく考えてみると、べつに男の子がスカートをはいてもいいんじゃない。べつに女の子がかっこいい服を着てもいいんじゃないと思いました。

赤ちゃんとかの体のことや赤ちゃんのおへそのこともたくさん2時間の中で知ることができました。おなかの中の時はお母さんとかお父さんとかが守ってくれていたけど、年を重ね続けると自分で自分の体を守っていこうと思った。はまの先生は体の大事なことをみんなの前で言うてくれてすごく感動して、体のことをいっぱい知ることができた。

☆保護者の方の感想☆

◎授業ありがとうございました。体のこと、心のこと、自分らしくなどとても内容の濃い内容ですごく充実していました。子どもの中にも、男はこう、女はこうというイメージを持っている子がいますが、「別に自分の好きなものを選んだらいいやん」という意見も出て、嬉しかったです。授業終わりに知らず知らずイメージがあって、思い込んでしまっていたなと自分を振り返っている児童もいて、すごく学びがあったと思いました。
◎性器の洗い方など、自分も習ったことがなかったのでとても興味深かったです。息子は下半身のけり合いなど日常茶飯事なので一時期とても心配しました。こういった授業があるのとなないのではまた今後友達との関わり方も変わってくるかもしれないと感じました。「〇〇してもいい？」と許可を得る事は意識しないと出来ない事だとおもうので、こういった簡単な事だけど、とても大切な事を学校で学べる事はとても意味があるなと思いました。自然と意識出来るよう、家でも実践していければと思います。



浜野の先生が読んでくれた絵本は、『イリスのたんじょうび』
作：がリーど ちえこ
文芸社

ジェンダーについて考える絵本です。イリスは花が大好きな男の子。ある日なかま達は、イリスのたんじょうびに何をプレゼントするかそうだんしていました。男だから、女だからではなく、自分の好きを大切にする絵本です。



3年生だけではありませんが、おもしろがって性器のけり合いしたシャボン玉バリア（境界線）が守られずにケンカになってしまうことも多くあります。そんな子どもたちと、自分の体の仕組みを知り、なぜ自分の体が大切かを今回の学習では学んでいます。命に関わる体の特に大切な部分『プライベートゾーン（下着（水着）でかくれる部分で胸・性器・おしり）』、そして同じように守らないといけない心、それが今回学習した『シャボン玉バリア（境界線）』になります。シャボン玉バリアは、子ども、先生、家族、誰もが持っているから安心が守られていることも教えて頂きました。大人（教員・親）と子どもの関係でも「体」「心」を守ることを実践していきたいです。